

第 25 回若手シンポジウム (第 9 回農芸化学の未来開拓セミナー)

場所: 岡山大学津島キャンパス自然科学研究科棟(N24) 2階大会議室

(http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/soumu-access_tsushima_all.html)

日時: 2017年5月19日(金)14:00~20日(土)12:00

プログラム(敬称略)

5月19日(金)

- 14:00~14:05 開会の辞
- 14:05~14:45 殺虫剤のターゲットとしてのリガンド作動性クロルイオンチャネル
尾添 嘉久 (島根大学)
- 14:45~15:25 海綿動物に学ぶガラス細工
清水 克彦 (鳥取大学)
- 15:25~15:35 休憩
- 15:35~16:15 ゼブラフィッシュで探るプロテインキナーゼとプロテインホスファターゼの新機能
末吉 紀行 (香川大学)
- 16:15~16:55 植物ペプチドホルモンの受容体を見つけ出す
篠原 秀文 (名古屋大学)
- 16:55~17:00 連絡等
- 18:00~ 意見交換会

5月20日(土)

- 9:00~9:05 連絡等
- 9:05~9:45 私たちは細胞についてどこまで知っているのか?
守屋 央朗 (岡山大学)
- 9:45~10:25 食品フラボノイドの代謝変換と機能性発現メカニズム
河合 慶親 (徳島大学)
- 10:25~10:35 休憩
- 10:35~11:15 環状化合物の配座と活性 ~単糖から天然発がんプロモーターまで~
柳田 亮 (香川大学)
- 11:15~11:55 合成ペプチドをツールとして植物の防御戦略を探る
宮下 正弘 (京都大学)
- 11:55~12:00 閉会の辞

講演会への参加(申し込み不要)は無料ですが、意見交換会への参加(申し込み必要)は、有料(一般4000円、ポスドク・学生2000円)です。意見交換会への参加は人数に制限がありますので、お早めにお申込下さい。

申し込み・問い合わせ先

岡山大学大学院環境生命科学研究科 〒700-8530 岡山市北区津島中 1-1-1

宗正 晋太郎(smunemasa@okayama-u.ac.jp)・中村 俊之(t-nakamura@okayama-u.ac.jp)・

根本 理子(mnemoto@okayama-u.ac.jp)・泉 実(mizumi@okayama-u.ac.jp)